

平成28年度事業報告について

I 概況

本道への自動車関連産業の集積促進を図るため、「北海道自動車産業集積促進アクションプラン」、及び「平成28年度事業計画」に基づき、企業誘致や、地場企業の参入促進、人材の育成・確保など、各種事業を実施した。

主な事業は、以下のとおり。

(1) 企業誘致

国内での生産拡大が期待できる次世代自動車等の基幹部品メーカーや、東北の完成車工場に部品納入している中京圏のサプライヤーなどを重点ターゲットに、リスク分散や東日本におけるサプライチェーンの再編の動きを捉えた誘致活動の推進や、メールマガジンを活用した情報発信などの進出企業へのフォローアップに取り組んだ。

(2) 地場企業の参入促進、域内取引の拡大

- ・ 品質・コスト・納期（QCD）対応力を強化するため、参入支援エキスパートを配置し、企業の課題解決に向けた個別指導を行ったほか、品質管理技術の向上や基盤技術の高度化を図る研究会や研修会を開催した。
- ・ 新工法・新技術の開発を支援するため、大学や試験研究機関が自動車関連企業との共同研究や技術指導を実施した。
- ・ 自動車産業への参入に向けた取り組みの中で蓄積された技術やノウハウを活かし、本道が強みを有する食関連産業や、成長の可能性が高い健康長寿分野への参入に向けた取り組みを支援した。
- ・ 取引機会の開拓のため、道内大手進出企業の道内調達に向けたマッチングや販路開拓員による中京圏・東北地域での情報の発信・収集等に取り組むとともに、道内・首都圏や中京圏での展示商談会を開催した。
- ・ 航空宇宙関連研究・実験等の誘致や道内企業の参入促進に向け、セミナーや工場見学会を開催した。

(3) 人材の育成・確保

- ・ 女性・若者のものづくり産業への理解促進のため、ものづくりなでしこ応援プロジェクトの展開や小中学生に対するものづくり体験会・工場見学会等の開催、ラリー北海道2016や2016サイエンスパークへの出展など、ものづくりの魅力の発信を行った。
- ・ ものづくり人材の確保のため、若年者や高齢者に対するカウンセリングの実施や合同企業説明会の開催、QC活動導入研修の開催や、総合的なネットワークサイトによる情報提供など、産学官が連携した人材育成事業を行った。
- ・ ものづくり人材の確保のため、インターネットを活用したU・Iターンなどの求人・求職情報の提供などを行った。

(4) 取組を進めるための環境づくり

- ・ 愛知県において、東北7県と合同で展示商談会を開催するとともに、道内・青森県内で北海道・東北の企業を対象とした「工場見学・部品等説明会」や交流会を開催するなど、東北7県との連携関係の構築に取り組んだ。
- ・ 物流コストの低減に向け、関係機関と連携した視察会などを実施した。

(5) 将来を見据えたチャレンジ

- ・ 道内企業による本道独自の電気自動車の開発や、次世代自動車の普及促進、自動走行の実証試験の円滑化や研究開発の促進に取り組んだ。
- ・ 自動走行の研究開発促進に向け、「ワンストップ窓口」を設置するとともに、実証試験場・公道モデルコースの誘致に向け、関係省庁、自動車関連企業等へのヒアリング及び先進地視察を行った。

II 総会、幹事会等

| |
|---|
| 1 設立10周年記念「ものづくりフォーラム」・総会 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 開催日：平成28年6月14日・ 会場：札幌市教育文化会館・ 参集：企業等：社・機関 105名 <p>《ものづくりフォーラム》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基調講演Ⅰ この10年間の北海道における自動車産業 北海道副知事 辻 泰弘・ 基調講演Ⅱ トヨタ自動車北海道の10年の歩みと目指す姿 講師：トヨタ自動車北海道株式会社 取締役社長 田中 義克 氏・ トークセッション 「道内企業への期待」 <p>○パネラー</p> <ul style="list-style-type: none">(株)ダイナックス 相談役 福村 景範 氏(株)デンソー北海道 代表取締役社長 根橋 聖治 氏シンセメック(株) 代表取締役会長 松本 英二 氏佐藤鋳工(株) 代表取締役社長 佐藤 孝造 氏 <p>○コーディネーター</p> <p>北海道自動車産業促進協議会 特別顧問 杉本 正和 氏</p> <p>《総会》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 議題：報告第1号：平成27年度事業報告 議案第1号：平成28年度事業計画(案) 議案第2号：役員の改選(案)について |
| 2 幹事会 |
| <p>【第1回】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 開催日：平成28年6月3日・ 議題：報告第1号 平成27年度事業報告 議案第1号 平成28年度事業計画(案) 議案第2号：役員の改選(案)について <p>【第2回】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 開催日：平成28年12月20日・ 議題：次期北海道自動車産業集積促進アクションプランの策定について |
| 3 メールニュース、ホームページでの情報提供 |
| <ul style="list-style-type: none">① 北海道自動車産業集積促進協議会メールニュース（HAIAニュース）の配信 各支援機関の各種施策やイベント等の情報などを会員へ配信（平成29年3月末までに累計545号配信）② 北海道自動車産業集積促進協議会ホームページによる情報発信 協議会の設立趣旨や計画、活動実績などに加え、各種施策やイベントの募集などの最新情報を掲載。 |

Ⅲ 各種事業の実施

1 企業誘致

(1) 本道の立地環境の優位性に関する情報発信

本道立地環境の優位性や北海道産業振興条例に基づく立地助成制度をPRしながら、道の道外事務所を中心に積極的な誘致活動を展開した結果、新規立地はなかったものの、増設による立地件数は11件となった。

① トップセールスの実施

| |
|---|
| ◆自動車メーカー等へのトップセールス 知事が、自動車メーカー等の役員に立地環境のPRなどを実施。 ◎(株)デンソー、トヨタ自動車(株) 【平成28年10月25日】 ◎アイシン・エイ・ダブリュ(株)、アイシン精機(株) 【平成29年2月2日】 |
| 北海道、北海道企業誘致推進会議 |

② 自動車関連企業に対する企業訪問

| |
|--|
| ◆中京圏を中心に、道外事務所等が企業訪問を実施し、本道の立地環境をPR ◎道の道外事務所職員による企業訪問(自動車関連企業分) ■東京事務所 14社、大阪事務所 14社、名古屋事務所 183社 ◎販路開拓員(3名配置)による中京圏・東北地方企業訪問 154件 |
| 北海道、北海道企業誘致推進会議 |

③ 自動車産業ショールームの開催

| |
|--|
| ◆「メッセナゴヤ2016」への出展 日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ」に出展し、本道の自動車関連産業に係るオンリーワン技術等の展示を行ったほか、進出企業によるプレゼンを行い、北海道の立地環境をPR。 ◎開催期間：平成28年10月26日～28日 ◎出展概要 《展示(北海道ブース)》 出展数 14企業・4大学・2団体・7自治体、ブース来場者 2,218名 ■企業 ①(株)北海道PVGS ②シオン電機(株) ③(株)ビックボイス ④(株)セコニック電子 函館事業所 ⑤上原ネームプレート工業(株) ⑥(株)ディー・ビー・シー・システム研究所 ⑦新日鐵住金(株)室蘭製鉄所 ⑧(株)キメラ ⑨(株)西野製作所 ⑩(株)TOMTEN ⑪不二電子工業(株) ⑫(株)ナカガワ工業 ⑬(株)徳重 ⑭佐藤鑄工(株) ■大学 ①北海道大学、②室蘭工業大学、③北見工業大学、④はこだて未来大学 ■団体 ①公益財団法人道央産業振興財団 ②北海道胆振総合興局 ■自治体 ①旭川市 ②函館市 ③室蘭市 ④登別市 ⑤苫小牧市 ⑥千歳市 ⑦石狩市 《プレゼンテーションセミナー(10月26日)苫小牧市・千歳市合同開催》 ■プレゼンター ・株式会社デンソー北海道代表取締役社長 根橋 聖治 氏 ・苫小牧市副市長佐藤裕・千歳市副市長 横田 隆一 氏 |
| 北海道、北海道企業誘致推進会議 |

(2) 進出企業へのフォローアップ

「自動車産業総合支援室」における進出企業等からの取引拡大の検討に係る相談などへの対応の実施、また、メールニュースやホームページを活用した自動車産業への参入や本道への立地に関する各支援機関の施策やイベントなどに関する情報提供を行った。

① 総合相談窓口におけるワンストップサービスの提供

| |
|--|
| <p>◆「自動車産業総合支援室」において、企業からの相談にワンストップで対応</p> <p>◎相談件数 13件</p> <ul style="list-style-type: none">■立地企業・道外企業からの相談等案件…12件 (ビジネスマッチング 3件、支援制度・支援事業 1件、その他 7件)■地場企業からの相談等案件… 1件 <p>◎具体的な事例</p> <ul style="list-style-type: none">■道外企業から、取引先の検討に関する相談■道内立地企業から増設等に係る立地支援制度に関する相談 など |
| 北 海 道 |

② メールニュース・ホームページでの情報発信

| |
|---|
| <p>◆北海道企業立地情報ネットワークニュースの配信</p> <p>各支援機関の各種施策やイベント等の情報などを北海道立地企業情報ネットワークの登録者へ配信 (平成29年3月末までに累計126号を配信)</p> |
| 北 海 道 |

2 地場企業の参入促進、域内取引の拡大

(1) QCD対応力や新工法・新技術の強化

品質・コスト・納期(QCD)対応力の強化を図るため、参入支援エキスパートを配置し、企業の課題解決に向けた個別指導を行ったほか、基盤技術の高度化に向けた研究会や研修会を開催した。

また、生産管理技術の向上を図るため、企業自らがカイゼンに取り組むための自己診断システムの普及や、品質管理技術の向上を図るための研修会を開催した。

また、新工法・新技術の強化に向けては、大学や試験研究機関による自動車関連企業との共同研究を実施するとともに、国の助成事業等を活用した技術開発等に取り組んだ。

【QCD対応力の強化(全般)】

① QCD対応力・アプローチ力強化に向けた支援

| |
|--|
| <p>◆参入支援チームの設置</p> <p>自動車メーカーOBや自動車関連技術に詳しい専門家を参入支援エキスパートとして配置し、道内企業のQCD対応力の強化や自動車メーカーへのアプローチ力に関しての指導を実施。</p> <p>◎支援体制：参入支援エキスパート(参入支援チーム) 8名</p> <p>◎利用企業数：14社(16課題) 112回</p> |
| 北海道、(一社)北海道機械工業会 |

【QCD対応力の強化（生産管理技術の強化）】

① 生産管理自己診断システムの普及促進

| |
|--|
| <p>◆「中核人材育成研修」の開催（札幌市） 「生産管理自己診断システム」、「テキスト」を活用し、企業自らが自社の強み・弱みを総合的に把握・判断し、生産現場のカイゼンに取り組むことができる中核人材（評価担当者）を育成。 ◎講師：バリュー・イノベーション・コンサルティング代表 竹中 弘路氏 ほか 元トヨタ自動車北海道（株）取締役技術部長 齋藤 均氏 ◎参加企業：10社19名 ◎期間：平成28年11月2日、平成28年12月7日 2回開催</p> |
| (地独)北海道立総合研究機構、北海道 |

② コスト改善のための知識・技術の普及を図るセミナーの開催

| |
|---|
| <p>◆「原価管理・コスト改善セミナー」の開催（札幌市） 企業の利益アップに直結する原価管理の手法やコストダウンのやり方などを、演習を交えて実践形式で学ぶためのセミナーを開催。 ◎講師：堀口ビジネスコンサルティング 代表 堀口 敬氏 ◎参加者数：19社28名 ◎期間：平成28年10月13日～11月17日 3回開催</p> |
| (地独)北海道立総合研究機構、北海道 |

③ 現場カイゼンのレベルアップ

| |
|--|
| <p>◆「生産現場カイゼン・品質管理基礎セミナー」の開催（平成28年7月27日／札幌市） 道内ものづくり企業のカイゼン意識の普及・促進を図るためのセミナーを開催。 ◎講演：トヨタ流製品開発（TPD）（堀切氏） 設計品質を高めるには（越水氏） ◎講師：豊田エンジニアリング株式会社 代表取締役 堀切 俊雄氏 首都大学東京 産業技術大学院大学 教授 越水 重臣氏 ◎参加者数：41社87名</p> |
| (地独)北海道立総合研究機構、北海道 |

【QCD対応力の強化（品質管理技術の強化）】

① 品質管理技術に関する実践講座の開催

| |
|--|
| <p>◆「生産現場カイゼン・品質管理基礎セミナー」の開催（平成28年7月27日／札幌市）【再掲】 道内ものづくり企業を対象に、品質管理の基礎知識や必要性について認識を深めるためのセミナーを開催。 ◎講演：トヨタ流製品開発（TPD）（堀切氏） 設計品質を高めるには（越水氏） ◎講師：豊田エンジニアリング株式会社 代表取締役 堀切 俊雄氏 首都大学東京 産業技術大学院大学 教授 越水 重臣氏 ◎参加者数：41社87名</p> |
| (地独)北海道立総合研究機構、北海道 |

② 品質評価技術に関する研修会の開催

| |
|---|
| ◆「品質評価技術研修」の開催（札幌市） 製造業における製品品質の評価技術を効率的・効果的に高めるため、品質に関する各種評価技術について研修会を開催。 ◎会 員：品質工学に関係する企業（29社50名） ◎講 師：首都大学東京 産業技術大学大学院 教授 越水 重臣 氏 元富士ゼロックス(株) 島川 邦幸 氏 安信経営工学研究所 所長 柴田 義文 氏 ◎期 間：平成28年8月23日～10月26日 3回開催 (地独)北海道立総合研究機構 |
|---|

③ 品質管理技術に関する研修会の開催

| |
|---|
| ◆「品質管理技術研修」の開催（恵庭市、札幌市） 企業の実情に合わせた内容で、企業ごとに品質管理技術を高めるための現地研修を開催。 ◎講 演：FMEA／FTA入門 ◎講 師：元日本アイ・ビー・エム(株) 石田 勉 氏 ◎参加者数：2社26名 ◎期 間：平成28年11月21日～11月22日 2回開催 (地独)北海道立総合研究機構 |
|---|

④ 製品開発支援に関するセミナーの開催

| |
|---|
| ◆「新商品開発セミナー」の開催（平成29年2月24日／札幌市） 製品やサービスの高付加価値化等に向け、優れた企画立案や効率的な商品企画をマネジメントできる人材の育成を図る平成29年度事業「商品企画実践講座」を紹介するセミナーを開催。 ◎講 演：確かな技術と柔軟な発想から生まれたヒット商品（小林氏） 新製品開発の考え方を教える あだち新製品開発講座(大塚氏) ◎講 師：三祐医科工業(株) 代表取締役 小林 保彦 氏 (有)エッチビーアイ 代表取締役 大塚 聡 氏 ◎参加者数：35社65名 (地独)北海道立総合研究機構 |
|---|

⑤ 標準化と品質管理推進のための大会や講演会開催

| |
|---|
| ものづくり企業の標準化と品質管理の実践を進めるため、講演会を開催。 ◆「標準化と品質管理北海道地区大会2016」の開催（平成28年10月19日／札幌市） ◎「品質保証力向上の取り組み、見える化・現場主義の実践」などの講演 (ハウス食品グループ本社株式会社 品質統括部 部長金子 茂靖 氏) ◎参加者数：125名 ◆「品質月間 特別講演会」の開催（平成28年11月11日／札幌市） ◎講 演：①大阪市立大学大学院 工学研究科 客員教授 米虫 節夫 氏 ②一般社団法人鉄道電業安全協会 顧問 山口 正明 氏 ◎テーマ：①食の安全と品質管理 ②過去の事例に学ぶ安全への道 ◎参加者数：53名 (一財)日本規格協会 札幌支部 |
|---|

【基盤技術の高度化】

① 自動車関連技術の高度化への支援

| |
|---|
| <p>◆「機械工業会&室蘭工大コラボによる高度技術セミナー」の開催 精密加工技術および周辺技術の最新動向とその応用 (平成28年12月15日/札幌市)</p> <p>日本のものづくりでは、高度な技術力を駆使した精密加工技術の進化が大きな原動力となっており、本道においても、自動車、航空機など、より高度な加工部品への取組が期待されることから、こうした技術等について専門家の方々から紹介を行った。</p> <p>① 【ウォータージェットによる加工技術】 講師 室蘭工業大学 もの創造系領域 機械航空創造系学科 教授 清水 一道 氏</p> <p>② 【最新鋭工作機械における高能率加工】 - 複合加工機を使用した最新加工技術 - 講師 ヤマザキマザック(株)営業本部 営業統括部 マーケティング企画課主幹 中島 昭彦 氏</p> <p>③ 【精密加工を支えるバリ取り自動化技術の最新動向】 講師 (株)ジーベックテクノロジー 技術担当 マネージャー 豊里 太祐 氏</p> <p>④ 【5軸マシニングを有効に使うCAM技術と活用事例】 講師 北海道職業能力開発大学校 生産機械システム技術科 職業能力開発 教授 江守 真 氏 参加者 90名</p> <p style="text-align: center;">室蘭工業大学、(一社)北海道機械工業会</p> |
|---|

② 道内企業の技術優位性向上のための講習会の開催

| |
|---|
| <p>◆「デジタルエンジニアリングによる設計・解析技術紹介セミナー」の開催(札幌市)</p> <p>今後、各方面での普及が見込まれる、デジタルデータを基にした製品や部品の設計・解析を行うデジタルエンジニアリング技術について、その最新動向と現場での導入実績などに関するセミナーを開催。</p> <p>◎講演：自動車部品を対象としたX線CTによる形状計測(三和田氏) X線CTによる形状スキャンとメッシュ生成 (大竹氏)</p> <p>◎講師：理化学研究所 兼 特定非営利法人 VCADシステム研究会 理事長 三和田 靖彦 氏 東京大学大学院 工学系研究科精密工学専攻 准教授 大竹 豊 氏</p> <p>◎参加者：10社13名</p> <p>◎期間：平成28年10月14日</p> |
| <p>◆「3次元CADモデリング研修会」の開催(札幌市)</p> <p>リバースエンジニアリング等により試作加工を行う上で必要な、3Dデータの取得技術高度化に関する研修会を開催。</p> <p>◎講師：(株)アプリアフト 代表取締役 女井 誠司 氏</p> <p>◎参加者：17社24名</p> <p>◎期間：平成28年8月23日～25日 3回開催</p> |
| <p>◆「高周波電子回路設計技術セミナー」の開催(札幌市)</p> <p>電子機器の設計・試作開発・生産効率化を図るため「電磁界シミュレータ」「各種計測装置」などの最先端技術による高周波電子回路設計技術の高度化を目的とした研修会を開催。</p> <p>◎講師：キーサイト・テクノロジー合同会社 佐々木 広明 氏、川井 滝夫 氏 (株)東陽テクニカ 生田 純也 氏</p> <p>◎参加者：15社20名</p> <p>◎期間：平成28年9月8日～平成29年3月7日 2回開催</p> |
| <p>◆「AM技術講習会」の開催(札幌市)</p> <p>新たな製造プロセスとして注目されている「3D積層造形法」に関する最新動向や活用事例等に関する</p> |

| |
|--|
| <p>る研修会を開催。</p> <p>◎講 演：金属3D積層造形の概要と取り組み事例について（高関氏） 金属光造形複合加工による金型技術の最新動向について（阿部氏） 金属粉末造形に関する取組事例について（葛西氏）</p> <p>◎講 師：（株）J・3D 代表取締役 高関 二三男 氏 パナソニック（株）エコソリューションズ社 主幹 阿部 諭 氏 （株）サカイ技研 技術営業 葛西 健央 氏</p> <p>◎参加者：19社24名</p> <p>◎期 間：平成28年12月8日～平成29年1月18日 2回開催</p> |
| <p>◆「技術セミナー：せん断加工の基礎と最新動向」の開催（平成28年12月8日／札幌市） 量産加工技術として、様々な製品の加工に適用されている「打抜き加工」「穴あけ加工」などに代表される「せん断加工技術」の最新動向に関するセミナーを開催。</p> <p>◎講 演：せん断加工の基礎と最新動向</p> <p>◎講 師：神奈川大学 名誉教授 青木 勇 氏</p> <p>◎参加者：8社10名</p> |
| <p>◆「技術研修会：CFRTPの基礎と成形実習」の開催（平成29年1月25日／札幌市） 自動車等の車体強度と燃費の向上を実現する次世代材料として注目されている「熱可塑性CFRP」の加工事例についての最新動向の紹介と成形実習を行う研修会を開催。</p> <p>◎講 演：CFRTPの基礎と最新動向</p> <p>◎講 師：（有）CAST 代表取締役 富田 隆広 氏</p> <p>◎参加者：13社16名</p> |
| <p>北海道、(地独)北海道立総合研究機構</p> |

【新工法・新技術開発への支援】

① 公設試験研究機関、大学等による技術指導や共同研究の実施

| | | | |
|--|------|-----|---------|
| ◆(地独)北海道立総合研究機構工業試験場や大学等による自動車関連の共同研究や技術指導の実施。 | | | |
| ◎工業試験場 | 共同研究 | 3件 | 技術指導 0件 |
| ◎北海道大学 | 共同研究 | 7件 | |
| ◎室蘭工業大学 | 共同研究 | 16件 | |
| 合 計 | 共同研究 | 26件 | 技術指導 0件 |
| (地独)北海道立総合研究機構、北海道大学、室蘭工業大学 | | | |

② 「とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会」への出展

| | |
|---|--------------------|
| ◆平成29年2月2日～3日に愛知県刈谷市産業振興センターで開催された「とうほく・北海道自動車関連技術展示商談会」に出展し、来場者に対し北海道の自動車関連産業に関する情報発信等を実施。 | |
| ◎参加企業等 | 81社・機関（うち道内企業は10社） |
| ◎来場者 | 約1,200名 |
| 北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 | |

③ 基盤技術高度化への助成

◆戦略的基盤技術高度化支援事業による支援

中小企業のものづくり基盤技術(情報処理、精密加工、複合、新機能材料等11分野)の向上につながる研究開発から試作までの取組を支援。

・採択件数：5件

<機械金属関係分>

◎テーマ「日常品市場向けCFRP部品のプレス量産化技術の研究開発」

■管理法人：(一社)日本金属プレス工業協会

■事業者名：トルク精密工業(株)

◎テーマ「耐水素脆性金属材料による水素ステーションのディスペンサー用フレキシブルホースの開発」

■管理法人：(公財)室蘭テクノセンター

■事業者名：トーフレ(株)

◆「革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金」による支援

経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を補助。

◎採択件数：176件(全業種)

◎採択事業者：シンセメック(株)、佐藤鋳工(株)、北海バネ(株)、京浜精密工業(株)、(株)池田熱処理工業など

北海道経済産業局

(2) 東日本地域のサプライチェーンなど道内外ターゲットとのマッチング

道内大手進出企業の道内調達に向けたマッチングや、中京圏のサプライチェーン開拓員による情報の発信・収集等に取り組むとともに、道内・首都圏での商談会や愛知県での「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」の開催などにより、道内外の自動車関連企業との取引機会の開拓を行った。

【受発注情報の収集・提供】

① 販路開拓員による発注情報の収集・提供等

◆販路開拓員による中京圏発注情報の収集等【再掲】

◎販路開拓員(3名配置)による中京圏・東北地方企業の発注案件を開拓。

■訪問件数：154件

北海道

② 専門調査員による受発注情報の収集・提供等

◆首都圏に広域専門調査員を配置(2名)し、首都圏等発注情報を収集。

◎企業訪問件数：250件 ※自動車関連以外も含む

(公財)北海道中小企業総合支援センター

③ 商談・企業情報の発信(HP)

◆(公財)北海道中小企業総合支援センターのホームページにおいて「北海道企業情報データベース」等により企業情報等を紹介。

◎北海道企業情報データベースによる紹介

道内製造業が、「どこに」「どんな企業があり」「何が作れるか」を紹介

■登録企業数 2,640社(建設業、情報サービス業等を含む)

(公財)北海道中小企業総合支援センター、北海道

④ 企業情報の発信 (HP)

| |
|---|
| ◆(一財) さっぽろ産業振興財団のホームページにおいて企業情報等を紹介。 ◎さっぽろ産業ポータル開設 札幌の産業・経済・イベント・技術等の情報を手軽に検索・収集や発信が可能 支援機関等からの、入札情報・補助金情報・融資情報などを938件紹介 (自動車関連以外も含む) ■企業情報データベース：札幌の企業 1,579社を紹介 (自動車関連以外も含む) |
| (一財) さっぽろ産業振興財団 |

【マッチングの実施】

① 「とうほく・北海道 自動車関連技術展示商談会」の開催

| |
|--|
| ◆愛知県刈谷市において、東北7県と合同でトヨタグループをはじめとする中京圏の自動車関連企業に北海道・東北企業の優れた技術力をアピールする展示商談会を開催。 (平成28年2月2日～3日/愛知県) ◎場 所 愛知県刈谷市産業振興センター ◎参加企業等 10社 ◎来場者 約1,200名 ◎成 果 2日間で544件の商談 |
| 北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 |

② 北海道ものづくり産業アドバイザーの設置

| |
|--|
| ◆ものづくり産業に関する優れた知見を有し、かつ、企業活動の業務に精通している「北海道ものづくり産業アドバイザー」から、企業誘致や道内企業育成等に関する取組や道に対する様々なアドバイスをいただいた。 ◎アドバイザー 杉本 正和 氏 (株)デンソー北海道 顧問 平成27年7月16日就任 |
| 北海道 |

③ ビジネスEXPO「第30回 北海道 技術・ビジネス交流会」の開催

| |
|--|
| ◆「繋がる！北海道新時代～aggressiveに突き進め！～」をテーマに、企業・大学・試験研究機関の研究開発製品やノウハウをアピールする展示商談会を開催。 (平成28年11月10日～11日/札幌市) ◎出展者数 354社・団体 ◎来場者数 20,417人 ◎商談件数 5,360件 ※ビジネスセミナー 基調講演 「10年後の車社会、デンソーの挑戦と北海道への期待」 講師：徳田 寛 氏 ((株)デンソー顧問) |
| 北海道技術・ビジネス交流会実行委員会 |

④ 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2016」の開催

| |
|---|
| ◆優れた技術や製品を有する道内企業の販路拡大や情報交換を図る展示商談会を開催。 (平成28年7月21日/札幌市) ◎出展者数：228 企業・団体 ◎来場者数：約4,800 名 ◎商談件数：1,300 件 |
| 北 洋 銀 行 |

⑤ 「ほっかいどう受発注拡大商談会」の開催

| |
|---|
| <p>◆道内外発注企業と道内受注企業との個別面談形式による商談会の開催。 (平成28年10月13日/札幌市) ■参加企業 発注企業 42社 (道内30社、道外12社) / 受注企業 65社 ■商談件数 250件 (自動車関連以外も含む)</p> |
| <p>(公財)北海道中小企業総合支援センター、(一社)北海道機械工業会</p> |

⑥ 「ほっかいどう広域商談会 in 東京」の開催

| |
|---|
| <p>◆道外発注企業において、工場視察及び個別面談形式による商談会を開催。 (平成29年2月15日/東京都) ■参加企業 35社 ■商談件数 87件</p> |
| <p>(公財)北海道中小企業総合支援センター、(一社)北海道機械工業会</p> |

⑦ 東北地域との連携による「工場見学・部品説明会」の開催

| |
|--|
| <p>◆いすゞエンジン製造北海道(株)「工場見学会」を開催 (平成29年1月23日/いすゞエンジン製造北海道(株)) 北海道・東北の企業を参集し、工場視察及び製造部品・治工具等の概要説明等を実施。併せて、北海道・東北企業の交流会を実施。 ■参加企業 北海道 14社9団体 東北 8社3団体</p> |
| <p>◆とうほく自動車産業集積連携会議との連携による東北地域内企業における「工場見学会」を開催。 (①平成29年3月15日 /三沢エンジニアリング(株)「工場見学会」②平成29年3月16日/多摩川精機株式会社八戸事業所「工場見学会」) 青森県内において、北海道・東北の企業を参集した工場視察及び製造部品の概要説明等を実施。 ■参加企業 北海道 14社9団体 東北 9社3団体</p> |
| <p>北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部</p> |

(3) 新たな分野への展開の支援

自動車産業への参入に向けた取組の中で蓄積された高い技術・ノウハウを活かし、食に関連する分野など、関連機械の開発の促進などの事業に取り組んだ。

① 新たな分野への展開の支援

| |
|---|
| <p>◆「食関連機械分野販路拡大事業」の実施 道内機械メーカーと道内外食品メーカー等のマッチングによる幅広い取引機会の開拓 ◎東京国際包装展「TOKYO PACK 2016」への出展 (平成28年10月4日～7日/東京ビッグサイト) ・道内出展企業 4社 ・入場者数 18万59千人 (食品メーカーをはじめ物流、流通等の多岐にわたる業種の来場) ◎「ものづくり広域連携フェアin函館」への出展 (平成28年8月24日/函館市) ・北海道食関連ゾーン出展企業数 5社 ◎道内機械メーカーを対象に食品工場の製造ラインを視察する「食品工場現地見学説明会」を開催 (平成28年8月25日/函館市、平成29年3月9日/恵庭市、平成29年3月10日/石狩市)</p> |
|---|

◆「一次産業等効率化機械共同開発促進事業」の実施

ものづくり産業における需要の新規開拓・拡大を図るため、一次産業とものづくり産業の連携を強化し、一次産業の生産や流通課程等における効率化や省力化などの課題解決型の機械開発の取組を促進。

◎ニーズ調査

①アンケート調査～機械化のニーズや課題に係る調査を実施

○調査先：農協 道東北・道南25組合
林業事業体 59企業・組合

②アンケート回答を元に、具体的なニーズの状況や機械化・開発等の対応の現状や可能性を調査

◎機械化提案会（機械メーカー等と一次産業事業者とのマッチング）

①上記調査による具体的なニーズ案件について、メーカー等に対応の可能性や意欲を調査

道総研・団体等から紹介があったメーカー 7社にヒアリング うち 対応可能 4社

②ニーズ側企業等に、製品・企業の情報、及び、食加研の対応等を紹介 2農協、2林業事業者

③ニーズ案件について、道総研（工試、食加研、林業試験場）に情報提供

北海道、（一社）北海道機械工業会

◆「健康・医療」関連分野の参入促進に向けた出展等の実施

「健康・医療」関連分野参入に向けた環境づくりや技術力をアピールする取組を実施

◎参入促進セミナーの実施 参加者数 71名

◎「ホスペックスジャパン2016」への出展（平成28年10月26日～28日/東京ビックサイト）

・参加企業数 6社

◎「第7回メディックス関西」への出展（平成29年2月15日～17日/インテックス大阪）

・参加企業数 10社 ※北海道・札幌市・石狩市の共同出展

◎道外医療機器メーカー工場見学会の実施（平成29年2月17日）

・見学先 東大阪市内1工場及びものづくりビジネスセンター大阪

・参加企業数 7社

◆「健康・医療」関連分野における道内ものづくり企業の参入促進プロジェクトの実施

（主な取組）

◎平昌パラリンピックに向けた競技用シットスキーの開発（H28～）

障害者冬季クロスカントリースキー競技であるシットスキーで、平昌パラリンピック出場を目指す札幌出身の「新田のんの」選手の専用競技用シットスキーを、道内産学官のものづくり力を結集して開発するプロジェクトを実施

・平成28年2月 パラノルディックススキー全日本チームの荒井監督から道に依頼

・平成28年5月～ 北見工業大学冬季スポーツ科学研究推進センター、道総研による開発

・平成28年8月～ 社会福祉法人クピド・フェアが製作に着手

・平成28年9月～10月 クラウドファンディングにより開発等資金を募集

・平成28年11月 改良型シットスキーの完成

・平成28年12月～3月 ワールドカップ等実戦使用、好成績

◎臓器移植用の保存装置（灌流型臓器保存装置（試作機））の開発

旭川医大と中央精工(株)（旭川市）との共同研究により、移植用の肝臓を最適な状態でより長く保存する装置の試作機を開発

・平成28年度：動物（ブタ）実験用試作機を製作し、研究開発・性能評価等を実施。

・医療機器展示会の「メディックス関西」で装置を出展（H29.2.15 大阪市）

・今後、実用化を目指し、臨床実験を推進（国内初の取組）健康・医療」関連分野における道

| |
|---|
| <p>◆航空宇宙関連研究・実験等の誘致や道内企業の参入促進に向けた取組 道内のものづくり企業の「航空宇宙」関連分野への参入に向け、発注部品や道外企業の参入動向、業界動向等の把握を行うとともに、参入可能な道内企業の掘り起こし等の調査を実施。 また、道内企業の機運情勢のため、セミナーや工場見学会を実施。</p> <p>◎セミナーの開催（平成29年1月18日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演 インターステラテクノロジズ株式会社代表取締役社長CEO 稲川 貴大 氏 株式会社アクセルスペース代表取締役 中村 友哉 氏 ・参加者数 224名 <p>◎道外への生産現場見学会（平成29年2月21日～22日、秋田県） 10社19名参加</p> |
| 北 海 道 |

3 人材の育成・確保

(1) 女性・若者のものづくり産業の正しい理解の促進

女性・若者のものづくり産業への理解促進に向けて、ものづくりなでしこ応援プロジェクトの展開や小中学生のものづくり体験会の開催など、ものづくりの魅力を発信を行った。

① 小中学生のものづくり体験

| |
|--|
| <p>◆高等技術専門学院における小・中学生ものづくり体験会の開催 高等技術専門学院等において、小・中学生を対象にもものづくり体験会を開催。</p> <p>◎開催回数 10回 ◎参加人数 小中学生615名</p> |
| 北 海 道 |
| <p>◆「Jr. ものづくりサミット」の開催 胆振管内の中学生が、(株)キメラ(室蘭市)における工場見学会や、室工大学生・アイシン北海道(株)若手社員との意見交換会などを実施(平成28年8月9日)。</p> |
| 北 海 道 |
| <p>◆サイエンスパークにおけるものづくり体験会の開催 (平成28年7月28日/地下歩行空間)</p> <p>◎タイトル 「センサで動く自動車を作ろう」 ◎内 容 こどもたちが音センサで動く不思議な自動車を作成(完成品は持ち帰り) ◎来 場 者 約2,500人(イベント全体)</p> |
| 北海道、(一社)北海道機械工業会、(株)デンソー北海道、 |

② 女性のものづくり産業への参画促進

| |
|--|
| <p>◆ものづくりなでしこ応援プロジェクトの実施 女性のものづくり産業に対するイメージアップに向けた情報発信等の取組を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場見学バスツアーの開催～3回(参加人数:87名) ○ものづくり企業女性社員による出前授業の開催～2回(参加人数:160名) ○PR冊子「つくりこ」の発行 ○ビジネスEXPOでのなでしこゾーンの展開、PRパネルの出展など |
| 北 海 道 |

(2) 技術系人材の育成・確保等

北海道科学大学において生産管理の技術者等を育成するカリキュラムを実施したほか、QC活動導入研修などを開催した。

加えて、総合的なネットワークサイトによる情報提供や、ポータルサイトによる産業人材に関する研修等の一元化した情報提供を行い、産学官が連携した人材育成事業を行った。

また、自動車関連などものづくり産業を対象としたPRや、インターネットを活用したU・Iターンなどの求人・求職情報の提供など、道内の自動車関連企業等における人材確保に向けた支援を行った。

① QCサークル活動の普及促進

| |
|--|
| <p>◆QCサークル活動導入研修の開催（道央地区／道南地区／道北地区）</p> <p>QC手法についての基本講座とともに演習によりQC手法を体験する研修会を開催。</p> <p>◎講師：QCサークル北海道支部役員・幹事</p> <p>◎道央地区（札幌高等技術専門学院＜札幌市＞）</p> <p>■日時：平成28年6月22日 13:00～17:20</p> <p>■参加者：12社32名</p> <p>◎道南地区（渡島総合振興局＜函館市＞）</p> <p>■日時：平成28年9月2日 9:30～16:00</p> <p>■参加者：11社20名</p> <p>◎道東地区（十勝総合振興局＜帯広市＞）</p> <p>■日時：平成28年10月14日 9:30～16:00</p> <p>■参加者：8社20名</p> <p>◎札幌地区ミニ発表会（札幌高等技術専門学院＜札幌市＞）</p> <p>■日時：平成28年10月28日 10:30～14:00</p> <p>■参加者：18社44名</p> |
| 北海道、QCサークル北海道支部 |

② 関係機関が連携した人材育成支援体制の構築

| |
|--|
| <p>◆北海道産業人材育成連携会議の開催</p> <p>国や道、大学、経済界、人材育成機関などが連絡調整や連携した取組を行うため、総合的な人材育成支援体制として設置。</p> <p>◎構成：23機関</p> <p>◎開催：会議1回（平成28年度）</p> <p>◎協議内容：北海道産業人材育成企業知事表彰受賞候補事業所選考</p> |
| <p>◆北海道産業人材育成ネットワークサイトの運営</p> <p>道内各機関が実施する研修やセミナー、道内市町村等の人材育成支援制度の紹介、工場見学・各種体験など次世代人材の育成に取り組んでいる企業の情報を提供。</p> <p>◎道内各機関の産業人材育成に関する研修・セミナーを一元化して掲載し、情報を提供</p> <p>◎ネットワークサイト内／研修・セミナーポータルサイト（平成27年度実績）</p> <p>■掲載実績：283機関 1,833講座</p> <p>■アクセス数：3,315アクセス</p> |
| 北海道経済産業局、北海道労働局、北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部、(公財)北海道中小企業総合支援センター、北海道経済連合会、(一社)北海道機械工業会、北海道職業能力開発協会、ポリテクセンター北海道、北海道大学、北海道道科学大学、室蘭工業大学、苫小牧高専 ほか |

③ ものづくり企業の人材確保への支援

| |
|--|
| ◆インターネットを活用した就職情報の提供 U・Iターンネットシステムにより道外在住の高度技術者等に求人情報を提供。 ◎求人企業登録者数 : 433社 ◎U・Iターン求職者登録数 : 283名 |
| 北海道、北海道労働局、北海道ビジネスサポート・ハローワーク |
| ◆若年者や高齢者に対する就業支援 ジョブカフェやジョブサロンにおけるカウンセリングの実施や合同企業説明会を開催。 ◎カウンセリング: 延べ人数752名 就職決定者数100名 ◎合同企業説明会: 15回開催 参加者数754名 就職決定者数131名(3月末時点) |
| 北海道 |

④ ものづくり企業の魅力発信

| |
|--|
| ◆インターネット等を活用した道内ものづくり企業の魅力情報発信 地域の食・ものづくり関連企業の仕事内容や魅力とともに、生活情報などを取りまとめた専用ウェブサイト「GOOD ジョブ」及び冊子により札幌をはじめ都市部の若者に発信。 ◎専用ウェブサイト「GOOD ジョブ」の運営 掲載企業数 22社 ◎冊子「GOOD ジョブ」の普及 道北地域版、道東地域版、道央・道南地域版 各4,000部 |
| 北海道 |

4 取組を進めるための環境づくり

愛知県豊田市において東北7県と合同で展示商談会を開催するとともに、東北と北海道の企業が参加した工場見学・部品説明会及び交流会を開催するなど、東北7県との連携関係の構築に取り組んだ。

① 東北7県と連携した商談会の開催

| |
|---|
| ◆愛知県刈谷市産業振興センターにて、東北7県と合同でトヨタグループをはじめとする中京圏の自動車関連企業に北海道・東北企業の優れた技術力をアピールする展示商談会を開催。 (平成29年2月2日～3日/愛知県) 【再掲】 ◎場所 愛知県刈谷市産業振興センター ◎参加企業等 10社 ◎来場者 約1,200名 ◎成果 2日間で544件の商談 |
| 北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 |

② 東北7県と連携した「工場見学・部品説明会」の開催

| |
|--|
| ◆いすゞエンジン製造北海道(株)「工場見学会」 (平成29年2月15日/いすゞエンジン製造北海道(株)) 北海道・東北の企業を参集し、工場視察及び製造部品・治工具等の概要説明等を実施。 併せて、北海道・東北企業の交流会を実施した。 【再掲】 ■参加企業 北海道 14社9団体 東北 8社3団体 |
| ◆とうほく自動車産業集積連携会議との連携による東北地域内企業における「工場見学会」 (①平成29年3月15日 / 三沢エンジニアリング(株)「工場見学会」②平成29年3月16日/多摩川精機(株)八戸事業所「工場見学会」) 新潟県内企業において、北海道・東北の企業を参集した工場視察及び製造部品の概要説明等を実施。 ■参加企業 北海道 14社9団体 東北 9社3団体 【再掲】 |
| 北海道、(独)中小企業基盤整備機構北海道本部 |

③ 物流の効率化に向けた取組の推進

| |
|--|
| ◆物流コスト低減に向けた参入支援エキスパートの配置 物流コストの低減に向けた専門の「参入支援エキスパート」を1名配置 |
| 北海道、(一社)北海道機械工業会 |
| ◆SCM(サプライチェーンマネジメント)研究会による物流現場の視察会・意見交換会を開催 北海道・札幌市・(一社)北海道商工会議所連合会と連携し、「SCM(サプライチェーンマネジメント)研究会」として、現場視察・意見交換会を4回(平成28年度)開催した。 意見交換会:平成28年6月17日 札幌国際エアカーゴターミナル・シンガポール航空カーゴを招いて 第6回視察会:平成28年6月20日 北海道トラックターミナル 第7回視察会:平成28年10月27日 新日本海フェリー(株)小樽本店フェリーターミナル 第8回視察会:平成28年12月19日 北海道国際エアカーゴターミナル(株) |
| 北海道経済連合会 |

5 将来を見据えたチャレンジ

道内企業による独自の電気自動車の開発や、次世代自動車の普及促進、自動走行の実証試験の円滑化や研究開発の促進に取り組んだ。

① 北海道発の次世代EVの研究開発・利活用プロジェクトの推進

| |
|--|
| ◆北海道発EVの研究開発・利活用の検討 道内ものづくり企業8社をコア企業・連携企業とした北海道発EV研究開発・利活用研究会が作成した北海道発EVについて、平成29年2月の愛知県刈谷市で開催された「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」に出展。トヨタ自動車関係者に加え、道内および東北の企業に研究開発の取組成果として披露。 |
| (独)中小企業基盤整備機構北海道本部 |

② 次世代自動車普及事業の開催

| |
|---|
| ◆次世代自動車普及促進事業の実施 ・「平成28年度省エネルギー・新エネルギー普及啓発展」において、次世代自動車に係る広報用パネル展示を実施。 ◎開催日:平成28年8月23日~25日 (アリオ札幌店 1階ハーベストコート) ・2016サイエンスパークにて次世代自動車に係る広報用パネル展示を実施。 ◎開催日:平成28年7月28日 (札幌駅前通地下歩行空間 特設展示場) |
| 北 海 道 |

③ 自動走行の研究開発促進及び公道モデルコース・実証試験場の誘致に向けた取組

◆北海道自動車安全技術検討会議の設置

自動走行の研究開発促進に向けた環境を整備するため、産学官の連携のもと、平成28年6月に「北海道自動車安全技術検討会議」を設置し、企業の取組を支援する「ワンストップ窓口」を開設した。

また、公道モデルコース・実証試験場の誘致に向け、国への要望内容を具体的なものとするため、企業等のニーズ調査、先進地視察（M-Cityほか：米国ミシガン州）を実施。

◎ワンストップ窓口での支援内容

- ①警察庁「自動走行システムに関する公道実証実験のためのガイドライン」に基づく関係機関への事前連絡。
- ②企業の開発ニーズに応じた公道実証試験の適地選定の参考となる道路の情報提供。
- ③自動走行などの自動車安全技術に関する大学・高専や道内企業の研究・技術シーズ等の紹介・マッチング。（など）

◎利用件数 29件

北海道

北海道自動車産業集積促進協議会

[北海道自動車産業集積促進協議会の会員数]

| | | | |
|-------------------------|----------|-----------|--------|
| 協議会設立時(H18. 8. 3) | 企業数： 79 | 支援機関数： 48 | 計： 127 |
| 平成 19 年度総会時(H19. 6. 13) | 企業数： 101 | 支援機関数： 59 | 計： 160 |
| 平成 20 年度総会時(H20. 5. 21) | 企業数： 142 | 支援機関数： 69 | 計： 211 |
| 平成 21 年度総会時(H21. 6. 4) | 企業数： 160 | 支援機関数： 70 | 計： 230 |
| 平成 22 年度総会時(H22. 6. 3) | 企業数： 162 | 支援機関数： 71 | 計： 233 |
| 平成 23 年度総会時(H23. 6. 2) | 企業数： 173 | 支援機関数： 72 | 計： 245 |
| 平成 24 年度総会時(H24. 6. 4) | 企業数： 174 | 支援機関数： 72 | 計： 246 |
| 平成 25 年度総会時(H25. 6. 12) | 企業数： 180 | 支援機関数： 73 | 計： 253 |
| 平成 26 年度総会時(H26. 5. 30) | 企業数： 181 | 支援機関数： 72 | 計： 253 |
| 平成 27 年度総会時(H27. 5. 27) | 企業数： 184 | 支援機関数： 72 | 計： 256 |
| 平成 28 年度総会時(H28. 6. 14) | 企業数： 184 | 支援機関数： 72 | 計： 256 |
| 平成 29 年 6 月 7 日現在 | 企業数： 186 | 支援機関数： 72 | 計： 258 |

【事務局】

北海道経済部（人材育成課・産業振興課(立地担当・ものづくり産業担当)の共同事務局体制)

北海道経済部産業振興局産業振興課ものづくり産業グループ

電話：011-204-5323（直通） ファックス：(011)232-2139

URL：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/sgs/jidousha1.htm>

E-Mail：keizai.sangyousinkou1@pref.hokkaido.lg.jp